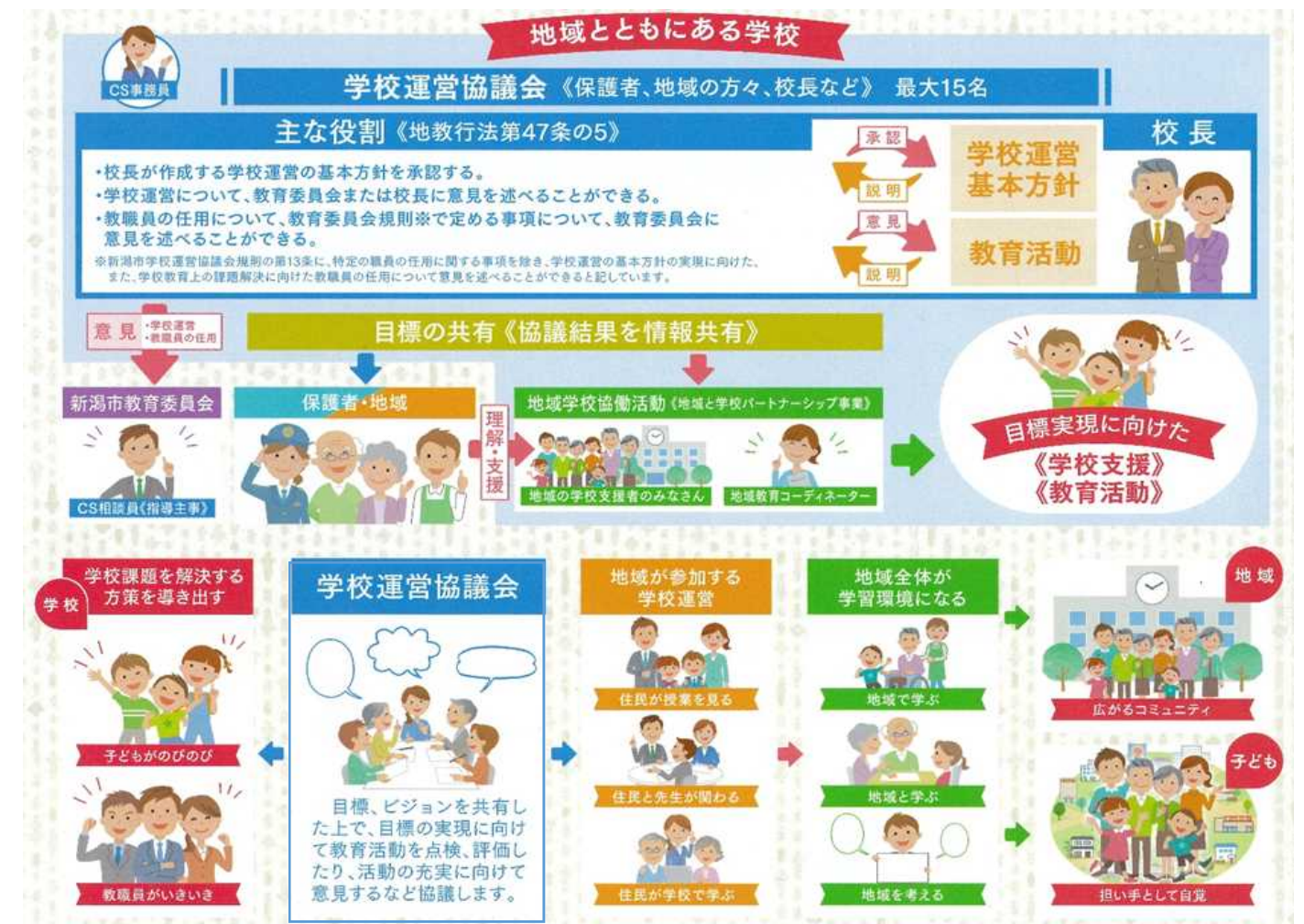


コミュニティ・スクールについて

臨時学校だより2号
藤見中学校
令和3年12月10日

新潟市すべての学校園は、令和4年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入します。藤見中学校も導入に向けて、準備を進めているところです。
皆さんにイメージをもってもらいたいと思い、新潟市教育委員会のチラシをもとに学校だよりを作成しました。ご意見がございましたら、藤見中学校にご連絡ください。裏面に連絡方法が掲載されています。

そのために、「地域とともにある学校」づくりをします！



保護者、地域、学校が一体となって、地域の未来を託す子どもを育む

いま 未来へつなぐ

地域とともにある学校へ

コミュニティ・スクール

2022年度
コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入します

これからの社会では、育成すべき資質や能力の具体的な姿を明らかにし、新潟市教育ビジョン第4期実施計画の中心となる考え方である「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」に、**保護者、地域、学校が一体となって取り組んでいく必要があると考えます。**

そこで、本市の学校は、未来を担う子どもの豊かな成長を「地域総がかり」で支える仕組みであるコミュニティ・スクールを導入し、次のステージである「地域とともにある学校」づくりに踏み出します。

コミュニティ・スクールでは、「学校運営協議会」を設置し、学校運営の基本方針を共有し、学校運営や子どもに必要な支援について、肯定的で未来志向の話し合いを行います。

コミュニティ・スクールのイメージ

「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」

学校運営協議会

保護者
地域
学校

令和2年4月 新潟市教育委員会

藤見中学校は、年3回計画しています

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回											
第2回											
第3回											
第1回	会長、副会長選出、学校経営方針の承認、パートナーシップ事業計画										
第2回	実施内容を検討中										
第3回	学校評価、来年度学校経営の承認										

裏面へ
地域とともにある学校

地域とともにある学校の姿

本市の学校は、学校運営協議会を設置し、地域と学校が支え合い、ともに成長し、活性化していく「地域とともにある学校」づくりを進めていきます。このため、学校は次の3つの姿を実現します。

1

保護者、地域、学校が「学校運営の基本方針」を共有している学校

どのような資質や能力を育むべきなのかなど、肯定的で未来志向の話し合いを行っています。

2

保護者、地域、学校で「社会に開かれた教育課程」を実現している学校

学習内容を組織的かつ計画的に地域とつなぐ学校の教育課程(教育活動)をとともに練り上げています。また、資質や能力が身に付いていく過程を見て、更新、改善しています。

3

保護者、地域、学校が一体となり、「地域総がかり」で子どもの成長を支える体制のある学校

未来の担い手を育てるという理念を共有し、子どもの豊かな成長のために、それぞれが主体的に取り組んでいます。

社会に開かれた教育課程(教育活動) R3.12月時点での予定 保護者・地域の応援!

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全学年	藤見ノート 毎日の生活にめあてをもって取り組む生徒の育成!											
			避難訓練		体育祭			合唱祭				
1年	ガイダンス	炊飯活動						農業体験			SDGs	
2年		市内巡検		じゅんさい池学習				職場体験				
3年		修学旅行								高校説明会		

お問い合わせ
教頭 武樋
275-1231

ご意見はGoogleフォームで簡単入力(令和4年2月22日まで)
URL入力かQRコードを読み込んで入力してください。
<https://forms.gle/rK6VpkryxRvNpkcVA>



令和4年度教育ビジョン(案)

教育目標
知性を高め 情操を培い 強い意志と身体を鍛える

合言葉
躍進藤見

目指す生徒像
教育目標の達成を実現し、これからの社会で自信をもって自己実現していける能力を身につけ、躍進する生徒。
○ 言語や情報を使いこなす能力(知識及び技能)
○ 自分をコントロールする能力(思考力・判断力・表現力等)
○ 多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する能力(学びに向かう力・人間性等)

目指す学校像
知・徳・体のバランスのとれた力を育む学校
地域と共にある学校

重点目標
めあてをもち自ら考える生徒
節度と思いやりの心をもった生徒
頑張り抜く気力と体力をもった生徒

重点をかける活動
これからの社会で自信をもって自己実現していける能力を身につけ、躍進するために!

例 学習課題	振り返り	個の学び「ノートづくり 学びのフレームワーク」 ノートで思考を整理する → あとで見返すノート
まとめ	気づき 自分の考え 友だちの意見	協働の学び「多様な他者と協働し目標に向かう」 プレゼンテーション クラウド上での共同作業 ファシリテーション 話し合い、学び合い
板書 学習プリント	練習問題 など	GIGAスクール 1人1端末「鉛筆・ノートと並ぶマストアイテム」

あいさつ運動
校内生活委員会、生徒会本部によるあいさつ運動

自治の力
班長・班会議
学級力アンケート
SDGs
いじめ見逃しゼロ運動

藤見ノート
生徒のキャリア発達を支援するノート。連絡帳ではなく、自ら計画するノートである。

学校行事
体育祭
合唱祭
職場体験活動
アグリ・スタディ・プログラム

支持的風土
「受容・傾聴」「支援」「自律」をキーワードに、認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う温かい集団づくり

学びのユニバーサルデザイン
・全ての子どもが安心して参加できる授業
・特別支援教育の充実

保護者・地域の応援
日頃の保護者連携
PTA活動
コミュニティ・スクール

学校、家庭、地域で子どもに育むべき資質・能力は?

前期学校評価<保護者>より 上位4項目

学校	自ら学ぶ力、探究力、人間関係調整能力、集中・挑戦
保護者	自らを調整する力、感性、忍耐力、集中・挑戦
地域	社会参画力、規律力、人間関係調整能力、勤労・奉仕